



家畜衛生だより



令和4年度第20号（牛豚鶏） 令和4年10月発行



3枚送付1枚目

南部家畜防疫協議会
(公社)千葉県畜産協会
千葉県南部家畜保健衛生所
〒296-0033 鴨川市八色52
電話 04(7092)2304
FAX 04(7092)1434

家畜ふん堆肥を提供する際は、 相手に以下の3点を必ず伝えてください！

★昨今の海外情勢により肥料価格が高騰しています。このため、家畜ふん堆肥が見直され、堆肥の需要が増加していますが、家畜ふん堆肥の利用には注意点もあります。堆肥を生産供給する側の責任として、以下の内容の理解と供給相手への説明の徹底を今一度お願い致します。



《堆肥利用者に必ず伝える3つの注意点》

1. 適正施用量を守ってください。

堆肥は土ではありません。土壌分析を行い、化学肥料と同様に施肥基準などに即して適正な量を使用してください。過剰施肥は生育障害等の原因になります。堆肥を化学肥料の代替とする場合、目安は基肥に必要な窒素成分の約3割です。

2. 耕起をよく行い、土壌と十分混和してください。

ほ場での堆肥の偏りを無くすためにも良く耕うんしてください。

3. クロピラリドによる生育障害に注意してください。

輸入飼料を給与した牛又は馬の排せつ物に由来する堆肥には、クロピラリド(除草剤の成分)が含まれている可能性があるため、特に施設栽培やポット栽培のナス科・マメ科・キク科の作物では施用量に留意する必要があります。詳しくは次ページ以降をご覧ください。

良質な堆肥は正しく利用すれば、作物への養分供給や土壌の改善などに役立つ資材です。今後も良質堆肥の生産をお願い致します。

問い合わせ先：千葉県畜産課 環境飼料班

電話：043-223-2944 Eメール：chikukan@mz.pref.chiba.lg.jp

○ 畜産農家の皆様へ ○

輸入飼料を給与した家畜の排せつ物に由来する 堆肥を販売・譲渡・施用する際にはご留意ください！

海外で使用された農薬の成分(クロピラリド)が含まれた輸入飼料が家畜に給与された場合、**堆肥を通じて、園芸作物やマメ科牧草等の生育に障害を起こす可能性**があります。



- ① クロピラリドは、広葉雑草(クローバーなど)を枯らす除草剤の成分で、我が国が粗飼料や穀類の多くを輸入している米国、豪州、カナダ等の各国で使用されています(我が国では申請がなく農薬登録されていません)。
- ② クロピラリドは、家畜の体内から速やかに排出され、家畜や人に対する毒性が低いため、飼料に含まれていても、**家畜や人の健康に影響を及ぼす心配はありません**。
- ③ クロピラリドに対する感受性は、作物や品種により大きく異なります。イネ科作物は耐性があるため、通常の施用量では稲、麦、とうもろこしやイネ科牧草の生産に障害を引き起こす心配はありません。

これまでの生育障害の発生状況

これまで、主に牛の排せつ物に由来する堆肥(一部、馬の排せつ物に由来する堆肥)を施用した育苗中のポット栽培や施設栽培において、生育障害が生じています。

農林水産省の調査では、**牛、馬、豚及び鶏**の排せつ物に由来する堆肥でクロピラリドが検出されています。

生育障害が生じやすい作物(耐性の弱い作物)

クロピラリド耐性の弱い作物は、**ナス科、マメ科、キク科**で、次のようなものです。

- **特に弱いもの** (例) トマト類、大豆、えだまめ、さやえんどう、そらまめ、キク、ヒマワリ、コスモス、アスター、スイートピー
- **弱いもの** (例) ピーマン、ナス、さやいんげん、にんじん、しゅんぎく、ふき、ひゃくにちそう

園芸農家等へは、これらの作物を栽培する際に、次のような対策を指導しています。

- (1)ポットで栽培する場合は、**家畜由来堆肥の利用を控える**
- (2)施設で栽培する場合は、**家畜由来堆肥の投入量を低減し、土壌とよく混和する**

クロピラリドによる生育障害の発生のしやすさは作物ごとに異なります

- 試験により、以下の作物のクロピラリドに対する感受性が確認されています。
- 最も感受性の高い作物は、主に**ナス科**、**マメ科**、**キク科**に属します。一方、イネ科（麦・牧草・トウモロコシ等）、アブラナ科（キャベツ、ブロッコリー、ハクサイ等）、果樹類等には、通常の堆肥施用量であれば影響しません。
- わが国ではこれまでに、「特に弱いもの」「弱いもの」「中程度のもの」に属する作物において、クロピラリドによると疑われる生育障害の発生の報告例があります。

	ナス科	マメ科	キク科	セリ科	ウリ科	その他
特に弱いもの	トマト類*	ダイズ エダマメ サヤエンドウ ソラマメ スイートピー クリムゾンクローバー	キク ヒマワリ マリーゴールド コスモス アスター ダリア			
弱いもの	ナス ピーマン シントウ ペチュニア	サヤインゲン	エンダイブ トレビス シュンギク レタス類** フキ ヒヤクニチソウ	ニンジン		
中程度のもの	バレイショ タバコ	ラッカセイ アズキ リョクトウ ササゲ ルピナス	ゴボウ ベニバナ オステオスペルマム	セルリー パセリ イタリアンパセリ ミツバ	キュウリ メロン トウガン ニガウリ スイカ ズッキーニ	ソバ オクラ モロヘイヤ ツルムラサキ ヒユナ
強いもの						アブラナ科 ユリ科 ヒユ科 シソ科 ナデシコ科 ヒルガオ科 バラ科 トルコギキョウ パンジー プリムラ キンギョソウ
特に強いもの						イネ科

・表に記した試験を行った作物のほかに、トウガラシ（ナス科）、ガーベラ、メランポジウム（ともにキク科）でも生育障害の報告例があり、注意が必要です。

・各作物種の耐性評価は品種により変動する場合があります。

* トマト類：ミニトマト、中玉トマト、大玉トマト

**レタス類：結球レタス、サニーレタス、グリーンリーフ、ロメインレタス、チマサンチュ、サラダ菜、ステムレタス

参照：「飼料及び堆肥に残留する除草剤（クロピラリド）の簡易判定法と被害軽減対策マニュアル（第2版）」（国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構）